

(別紙)

1. 広島県環境保全基金の残高等

			金額（単位:円）	備 考
①	基金総額（前年度末基金残高）		158,256,145	
	内 訳	うち、国費相当額	79,128,072	
		うち、地方負担相当額	79,128,073	
		うち、負担附寄附金等	0	
②	基金運用益		523,848	
③	その他収入		0	
④	負担附寄附金等		0	
⑤	返納額		0	
⑥	基金執行額（処分額）		91,851,568	内訳は下表のとおり
⑦	基金残高		66,928,425	(=①+②+③+④-⑤-⑥)
	内 訳	うち、国費相当額	33,464,212	
		うち、地方負担相当額	33,464,213	
		うち、負担附寄附金等	0	

2. 保有割合

	次年度の基金類型	取崩型	金額（単位:円）	備考
⑧	基金残高		66,928,425	
⑨	事業費（次年度から終了年度までの見込額）		64,394,774	
⑩	保有割合		1.039	= (⑧／⑨)
保有割合の算定根拠				
運用型：運用益見込額÷事業費（次年度見込額）				
取崩型：基金残高÷事業費（次年度から終了年度までの見込額）				

3. 国庫補助金相当額の国庫返還の可否（運用型はすべて、取崩型は2. 保有割合が1 以上の場合に限る。）

⑪	使用見込額を上回る資金の国庫補助金相当額の国庫返還の可否	否	
⑫	返還可能額	0円	
⑬	返還時期	令和9年度（終了年度）以降	
⑭	返還が困難である理由	温暖化、食ロス、熱中症対策等の様々な活動に対し、R8年度以降も引き続き予算化を検討しているため。	

4. 事業一覧

番号	事業名	事業費			備考	達成度	事業費 (次年度)	事業費 (終了まで)
		合計	一般財源等	基金充当額				
1	環境保全普及啓発事業	609,842		609,842		74%	761,580	1,523,160
2	家庭向け夏季冬季の省エネ行動促進事業	9,288,884	825,000	8,463,884		83%	5,000,000	10,000,000
3	家庭における省エネ行動促進事業	1,497,100		1,497,100		70%	2,298,000	4,596,000
4	スマートハウス普及促進事業	4,895,660		4,895,660		60%	4,999,390	9,998,780
5	瀬戸内海環境保全推進事業	837,277		837,277		89%	771,467	1,542,934
6	傷病鳥保護普及啓発事業	65,907		65,907		37%	71,820	143,640
7	希少動植物種生息地調査・保全事業	7,110,000		7,110,000		91%	7,957,560	15,915,120
8	食品ロス削減推進事業	7,865,000	360,000	7,505,000		91%	7,987,100	15,974,200
9	暑熱対策普及啓発事業（令和7年度新規）	899,298		899,298		65%	2,350,470	4,700,940
10	海洋プラスチック削減に向けた普及啓発・取組定着促進事業（令和7年度新規）	59,967,600		59,967,600		120%	0	0
合 計		93,036,568	1,185,000	91,851,568			32,197,387	64,394,774

5. 基金事業の目標に対する達成度

成果指標	広島県地域環境保全基金実施計画書に記載のとおり		
成果実績		令和8年9月頃に環境白書にて公表	
目 標 値		広島県地域環境保全基金実施計画書に記載のとおり	
達 成 度		78%	

令和7年度 事業報告書

事業名	環境保全普及啓発事業	新規・継続区分	継続
事項名	—	開始年度	平成6年度
担当部署	広島県環境県民局環境政策課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

学校、家庭、事業者等による環境保全活動を促進するため、「環境の日」に関連したイベント開催等の普及啓発事業を行い、実践行動の拡大を図る。	
【目標】	「環境の日」ひろしま大会累計来場者数 44,000人以上（年間5,500人×8年間） （平成29年度～令和9年度実施の累計来場者数 ただしコロナで中止した令和2年度、オンライン開催の令和3～4年度を除く）
【実績】	H29 3,800人 H30 3,600人 R01 3,700人 R02 中止（新型コロナウイルス感染拡大防止のため） R03 7,061アクセス（特設WEBサイトによりオンラインで開催） R04 9,590アクセス（特設WEBサイトによりオンラインで開催） R05 7,700人 R06 8,100人 R07 6,200人

2. 概要

(1) 「環境の日」ひろしま大会 「環境の日」に関連したイベントを開催し、団体・事業者等の環境保全に関する取組を紹介することにより、県民の環境保全意識の醸成を図る。	
(2)	環境月間行事 すぐれた環境保全活動やポスターを顕彰し、実践行動に取り組む個人・事業者等の意識の高揚を図る。
(3)	「ひろしま環境の日」行動宣言 省エネ生活、エコドライブ等の環境にやさしいライフスタイルや事業活動の実践を呼びかけ、個人、事業者等の取組参加を活発化し、実践行動の拡大を図る。
(4)	ひろしま地球環境フォーラム ひろしま地球環境フォーラム（県民、事業者、団体、行政等が連携して環境への取組を総合的に推進する組織）に参画し、構成員とともに環境啓発活動、保全活動等を行う。

3. 根拠法令等

なし。	
-----	--

4. 実施内容等

(1) 「環境の日」ひろしま大会 団体・事業者の環境保全に関する取組紹介等を行うイベントを開催	
(2)	環境月間行事等 ひろしま環境賞、環境ポスター・標語の表彰
(3)	「ひろしま環境の日」行動宣言 省エネ生活等の実践を呼びかけ、実践する個人や団体を募集・登録
(4)	ひろしま地球環境フォーラム 環境啓発活動（イベント（「環境の日」ひろしま大会、ひろしま温暖化ストップ！フェア、脱・温暖化フェア））、保全活動（県民参加型清掃活動）等を実施。

事業番号①

令和 7 年度 事業報告書

事業名	環境保全普及啓発事業	新規・継続区分	継続
事項名	—	開始年度	平成 6 年度
担当部署	広島県環境県民局環境政策課	終了年度	令和 9 年度

5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
報償費	18,142		18,142	表彰選考委員
旅費	8,700		8,700	表彰受賞者
需用費	0		0	表彰状、登録証ほか
役務費	33,000		33,000	通信費、筆耕ほか
負担金	550,000		550,000	ひろしま大会、地球環境フォーラム
合計	609,842	0	609,842	(単位：円)

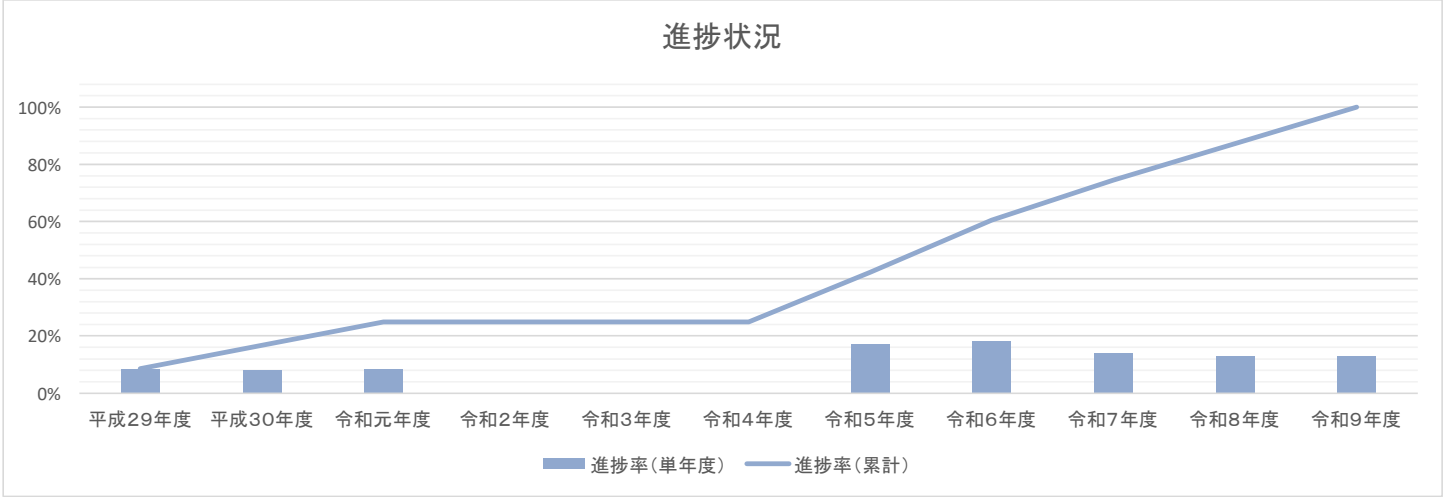
年度 (単位:千円)	平成 2 9 年度	平成 3 0 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
事業費 (単年度)	649	641	634	271	563	548	610	625	610	762	762
事業費 (累計)	649	1,290	1,924	2,195	2,758	3,306	3,916	4,541	5,151	5,913	6,675

(見込) (見込)

6. 進捗状況等

年度	平成 2 9 年度	平成 3 0 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
進捗率 (単年度)	9%	8%	8%	0%	0%	0%	17%	18%	14%	13%	13%
進捗率 (累計)	9%	17%	25%	25%	25%	25%	42%	60%	74%	87%	100%
「環境の日」ひろしま大会 来場者数(累計人数)	3,800	7,400	11,100	11,100	11,100	11,100	18,800	26,900	33,100	38,800	44,500
「環境の日」ひろしま大会年度別来 場者数(年度別人数)	3,800	3,600	3,700	中止	オンラインのみの ため加算しない	オンラインのみの ため加算しない	7,700	8,100	6,200	5,700	5,700

(見込) (見込)



令和 7 年度 事業報告書

事業名	家庭向け夏季冬季の省エネ行動促進事業	新規・継続区分	継続
事項名	—	開始年度	平成 2 6 年度
担当部署	環境県民局環境政策課	終了年度	令和 9 年度

1. 目的及び目標（値）

夏冬の省エネ対策として、家庭や公共施設や商業施設等において、涼しさ・あたたかさを分け合うなど、家庭での節電を促進する「ひろしまクールシェア&冬の光熱費節約チャレンジ」の取組を実施する。
【目標】 参加協力施設数 2,000施設以上（令和9年度）

2. 概要

・夏冬の省エネ対策として、家庭や公共施設や商業施設において、涼しさ・あたたかさを分け合うなど、家庭での節電を促進する取組を実施するため、商業施設や公共施設に呼びかけ、参加協力施設を募集する。

・ひろしまクールシェア&冬の光熱費節約チャレンジ参加協力施設に、ポスター・チラシなどを提供する。また、県民の参加を促すために、参加協力施設には実施期間中にタイムセール・割引・クーポンなどの独自のサービス提供について協力を依頼し、県では、分かりやすく参加協力施設等をマップ掲載するとともに、アンケートを実施し、回答者に対して、抽選で記念品を進呈する。

3. 根拠法令等

なし。

4. 実施内容等

- （1）参加協力施設の募集
 - ・県内公共施設・商業施設に対して参加依頼を目的としたDM発送
 - ・参加協力施設へのタイムセールや割引、クーポンなどの参加を促進する独自サービス実施の依頼
- （2）啓発物品の作成及び発送
 - ・啓発チラシ・ポスターの作成及び発送
- （3）抽選の実施
 - ・対象施設を利用し、アンケートに回答した参加者の中から抽選で記念品を進呈
- （4）うちエコ診断WEBサービスの周知

事業番号 ②

令和 7 年度 事業報告書

事業名	家庭向け夏季冬季の省エネ行動促進事業	新規・継続区分	継続
事項名	—	開始年度	平成 2 6 年度
担当部署	環境県民局環境政策課	終了年度	令和 9 年度

5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備 考
委託費	9,288,884	825,000	8,463,884	参加協力施設募集、窓口対応、チラシ等の普及啓発作成品の作成、システム構築等
合計	9,288,884	825,000	8,463,884	(単位：円)

年度 (単位:千円)	平成 2 9 年度	平成 3 0 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
事業費 (単年度)	4,211	4,799	4,837	0	3,184	4,000	5,340	7,833	8,464	5,000	5,000
事業費 (累計)	4,211	9,010	13,847	13,847	17,031	21,031	26,371	34,204	42,668	47,668	52,668

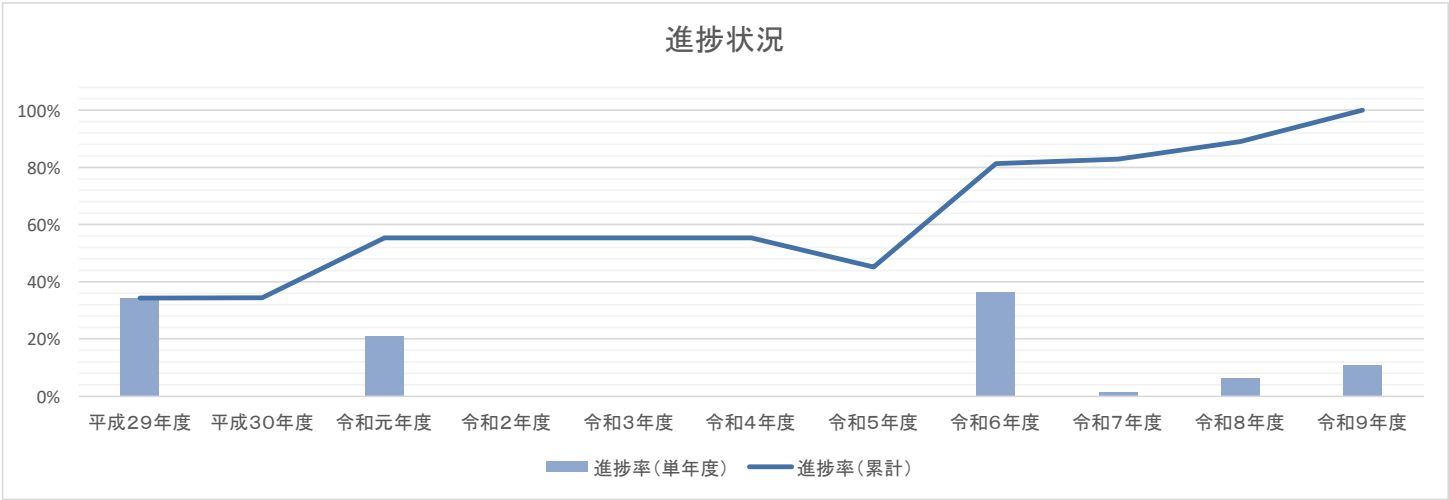
(見込) (見込)

6. 進捗状況等

年度	平成 2 9 年度	平成 3 0 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
進捗率 (単年度)	34%	0%	21%	0%	0%	0%	-10%	36%	2%	6%	11%
進捗率 (累計)	34%	34%	55%	55%	55%	55%	45%	81%	83%	89%	100%
年度別参加協力施設数 (施設)	687	689	1,106	中止	中止	中止	902	1,627	1,657	1,781	2,000

(見込) (見込)

進捗状況



令和 7 年度 事業報告書

事業名	家庭における省エネ行動促進事業	新規・継続区分	継続
事項名	—	開始年度	平成 2 9 年度
担当部署	環境県民局環境政策課	終了年度	令和 9 年度

1. 目的及び目標（値）

全ての県民が地球温暖化問題への理解を深め、日常生活において省エネ行動を自主的かつ積極的に進めるために家庭における省エネ行動促進事業を実施する。

【目標】

うちエコ診断制度の運用

うちエコ診断件数：75,690世帯（平成29年度～令和9年度の累計）

2. 概要

家庭部門のCO2排出量の削減に向けて、県民一人ひとりの自発的な行動を促す普及啓発等に注力するため、家庭における省エネ行動促進事業を実施する。

3. 根拠法令等

なし。

4. 実施内容等

家庭エコ診断制度の運用（1,498千円）

- ・業務委託
- ・普及啓発

事業番号 ③

令和 7 年度 事業報告書

事業名	家庭における省エネ行動促進事業	新規・継続区分	継続
事項名	—	開始年度	平成 2 9 年度
担当部署	環境県民局環境政策課	終了年度	令和 9 年度

5．事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
うちエコ診断委託費	1,497,100		1,497,100	うちエコ診断（対面診断）実施
合計	1,497,100	0	1,497,100	（単位：円）

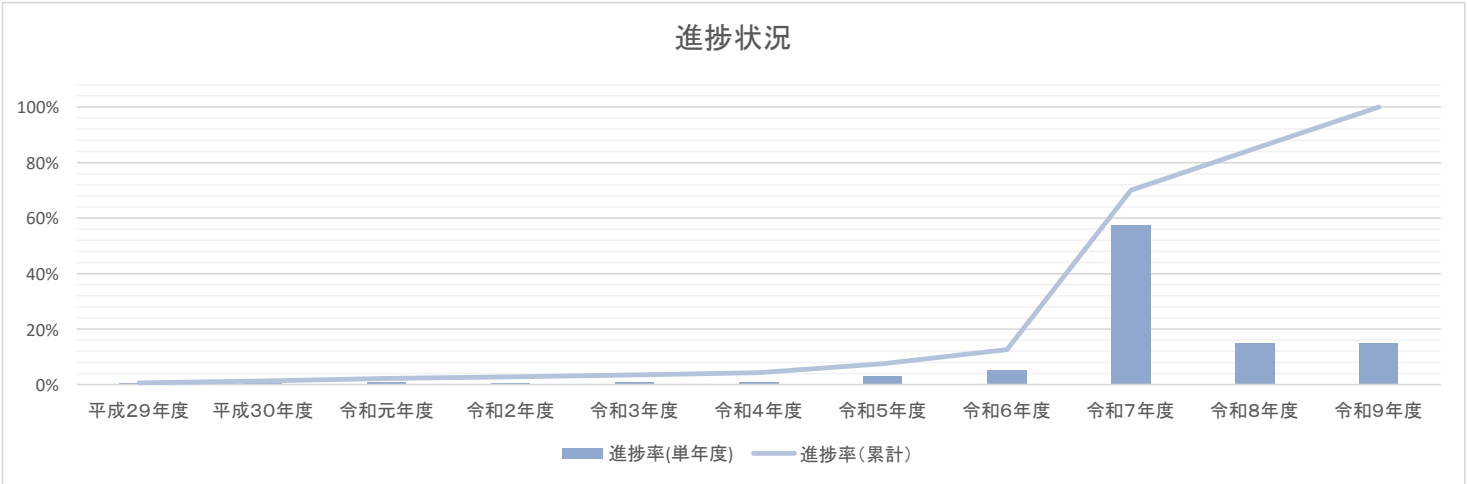
年度（単位：千円）	平成 2 9 年度	平成 3 0 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
事業費（単年度）	7,981	10,712	11,355	6,027	5,079	1,974	2,203	2,153	1,498	2,298	2,298
事業費（累計）	7,981	18,693	30,048	36,075	41,154	43,128	45,331	47,484	48,982	51,280	53,578

(見込) (見込)

6．進捗状況等

年度	平成 2 9 年度	平成 3 0 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
進捗率(単年度)	1%	1%	1%	1%	1%	1%	3%	5%	57%	15%	15%
進捗率（累計）	1%	1%	2%	3%	4%	4%	8%	13%	70%	85%	100%
うちエコ診断件数（累計件数）	454	1,016	1,643	2,107	2,687	3,333	5,689	9,563	53,006	64,348	75,690
うちエコ診断件数（年度別件数）	454	562	627	464	580	646	2,356	3,874	43,443	11,342	11,342

(見込) (見込)



令和7年度 事業報告書

事業名	スマートハウス普及促進事業	新規・継続区分	継続
事項名	—	開始年度	令和5年度
担当部署	広島県環境県民局環境政策課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

【目的】
ネット・ゼロカーボン社会の実現に向けて、民生（家庭）部門において、スマートハウス等、住宅の省エネや再生可能エネルギーの導入に係る普及啓発を実施する。

【目標】
(R5～R7目標) 省エネ住宅の普及啓発によるZEH住宅等のCO2削減量：750 t（令和5年度～9年度累計）
(R8・R9目標) 省エネ住宅の普及啓発によるZEH住宅等のCO2削減量：1,020t（令和5年度～9年度累計）

※さらなるCO2削減を目指し、新たな目標を設定。

2. 概要

民生（家庭部門）の温室効果ガス削減に資するため、広報活動等を委託により実施する。

- ビルダー等への取材・情報整理
- スマートハウス等普及啓発のための広報・イベント出展業務
- スマートハウス等普及促進セミナーの開催
- スマートハウス等普及促進に係る講師派遣

3. 根拠法令等

なし。

4. 実施内容等

- ビルダー等への取材・情報整理
 - ・スマートハウス等の建設に取り組んでいる業者に取材を行い、スマートハウス等のメリットを県民にPRできるよう情報を整理した。
- スマートハウス等普及啓発のための広報・イベント出展業務
 - ・「環境の日ひろしま大会」をはじめとした広島県内市町の環境イベントや住宅関係イベントを活用し、スマートハウス等の利点をPRした。
- スマートハウス等普及促進セミナーの開催
 - ・地域全体でスマートハウス等への理解を深め普及につなげるため、県民に加え工務店等を対象に、セミナーを企画し実施した。
- スマートハウス等普及促進に係る講師派遣
 - ・スマートハウス等の普及啓発のため、県内で実施されるセミナーやイベントにおいて、講師を派遣した。

事業番号 ④

令和 7 年度 事業報告書

事業名	スマートハウス普及促進事業	新規・継続区分	継続
事項名	—	開始年度	令和 5 年度
担当部署	広島県環境県民局環境政策課	終了年度	令和 9 年度

5. 事業費等

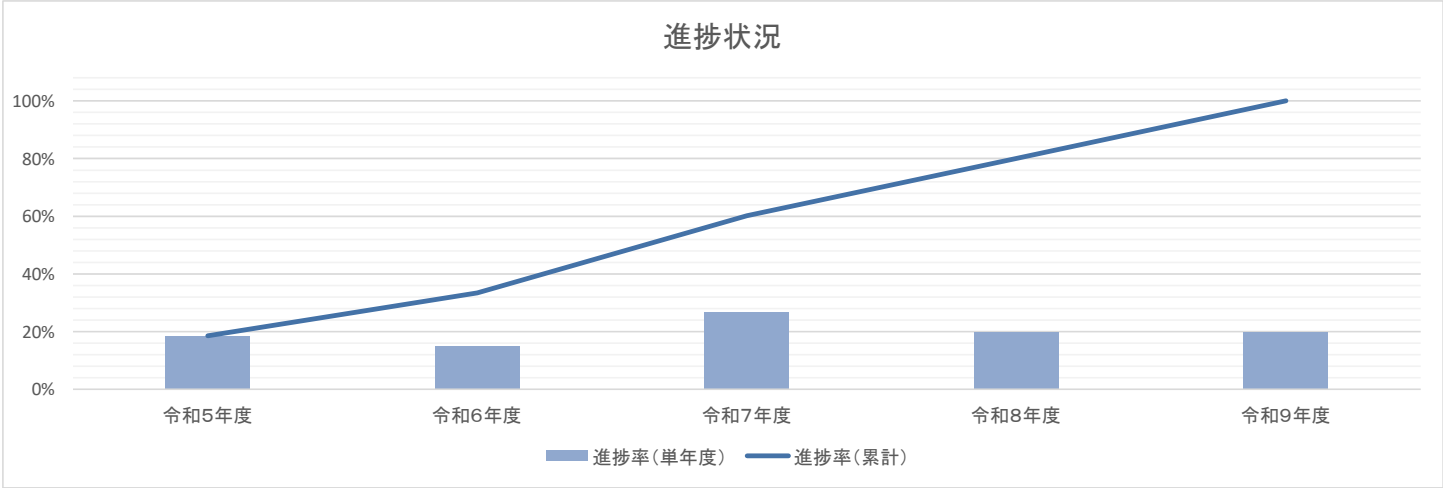
	合計	一般財源等	基金充当額	備考
委託費	4, 895, 660		4, 895, 660	ビルダー等への取材・情報整理 セミナー講師派遣、イベント出展
旅費	0		0	職員旅費
使用料及び賃借料	0		0	イベント会場費用
合計	4, 895, 660	0	4, 895, 660	(単位：円)

年度 (単位:千円)	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
事業費 (単年度)	4, 713	4, 860	4, 896	5, 000	5, 000
事業費 (累計)	4, 713	9, 573	14, 469	19, 469	24, 469

(見込) (見込)

6. 進捗状況等

年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
進捗率 (単年度)	19%	15%	27%	20%	20%
進捗率 (累計)	19%	33%	60%	80%	100%
省エネ住宅の普及啓発による ZEH住宅等のCO2削減量 (t) (年度別)	189	152	273	203	203
省エネ住宅の普及啓発による ZEH住宅等のCO2削減量 (t) (累計)	189	341	614	817	1020



令和 7 年度 事業報告書

事業名	瀬戸内海環境保全推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	—	開始年度	平成 1 4 年度
担当部署	広島県環境県民局環境保全課	終了年度	令和 9 年度

1. 目的及び目標（値）

【目的】
瀬戸内海の環境を良好に維持していくためには、多くの人々に海に対する関心や興味・愛着を持ってもらい、環境の維持や保全の取組に参加しやすい仕組みづくりが必要である。
このため、関係市町と協力して、「せとうち海援隊」への活動支援を拡充し、県内の海浜における、清掃・美化活動や海岸・干潟生物調査等の環境保全活動を促進する。
〈せとうち海援隊：瀬戸内海の海浜清掃、海岸・干潟の生物調査などを実施する団体で、県の認定を受けた団体。〉

【目標】
せとうち海援隊 認定数 44団体（令和 9 年度）
（実績）令和 7 年度 認定数 39団体

2. 概要

せとうち海援隊の活動支援
(1) 環境保全活動用資材の提供
(2) 傷害保険・賠償保険への加入

3. 根拠法令等

なし。

4. 実施内容等

- (1) 環境保全活動用資材の提供
海岸生物モニタリング調査に必要な教材や機材、また、海浜清掃活動に必要な用具をせとうち海援隊に提供し、瀬戸内海の環境保全活動への取組を支援。
〈提供資材〉軍手、タオル、火バサミ、バネばかり等
- (2) 傷害保険・賠償保険への加入
当事業で実施する海岸生物調査や海浜清掃活動への参加者に対し、傷害保険・賠償保険を掛けた。

事業番号 ⑤

令和 7 年度 事業報告書

事業名	瀬戸内海環境保全推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	—	開始年度	平成 1 4 年度
担当部署	広島県環境県民局環境保全課	終了年度	令和 9 年度

5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
需用費（その他）	671, 297		671, 297	ロゴ入りタオル、瀬戸内海援隊ビブスなど
役務費	165, 980		165, 980	傷害保険契約
合計	837, 277	0	837, 277	(単位：円)

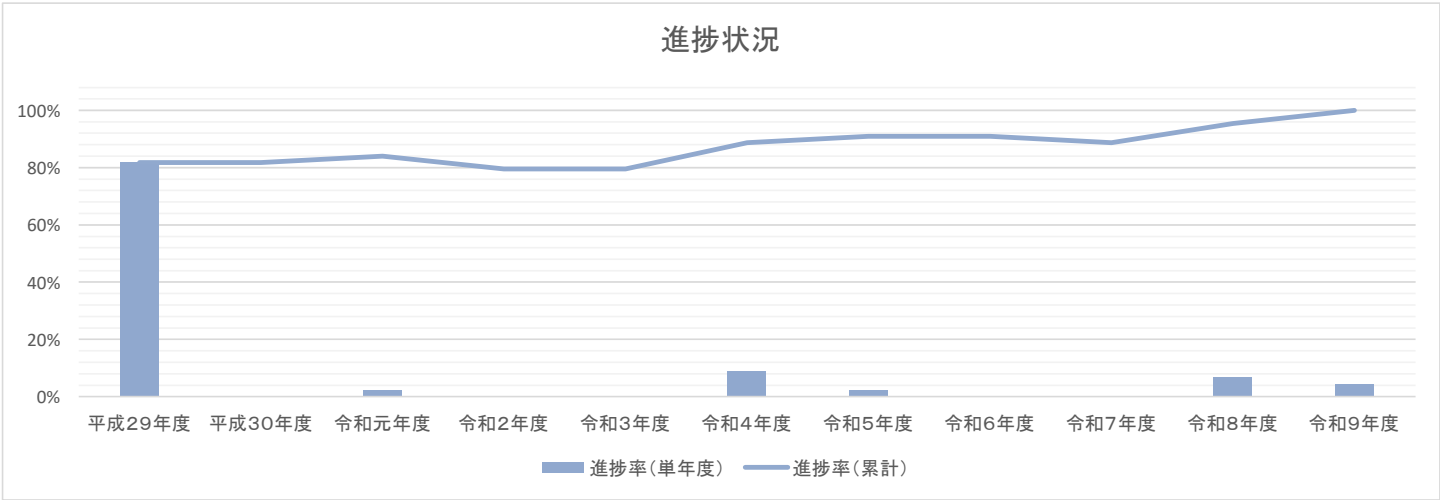
年度 (単位:千円)	平成 2 9 年度	平成 3 0 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
事業費（単年度）	1, 273	359	456	679	620	530	641	785	838	772	772
事業費（累計）	1, 273	1, 632	2, 088	2, 767	3, 387	3, 917	4, 558	5, 343	6, 181	6, 953	7, 725

(見込) (見込)

6. 進捗状況等

年度	平成 2 9 年度	平成 3 0 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
進捗率（単年度）	82%	0%	2%	-5%	0%	9%	2%	0%	-2%	7%	5%
進捗率（累計）	82%	82%	84%	80%	80%	89%	91%	91%	89%	95%	100%
せとうち海援隊の年度別認定数（団体）	36	36	37	35	35	39	40	40	39	42	44

(見込) (見込)



令和 7 年度 事業報告書

事業名	傷病鳥保護普及啓発事業	新規・継続区分	継続
事項名	—	開始年度	平成30年度
担当部署	広島県環境県民局自然環境課	終了年度	令和 9 年度

1. 目的及び目標（値）

野生鳥類との共存に対する県民の意識を高めるため、児童をはじめ広く県民の鳥獣保護意識の醸成を図る。
【成果目標】 コンクール応募点数 400点/年（令和9年度）

2. 概要

○ 鳥獣保護意識醸成のため、昭和22年～毎年 5 月に実施されている愛鳥週間の普及啓発を行う。
① ポスターの作成過程を通じて野生鳥類についての保護思想を高めるため、原画作品を募集する。
② 県審査で入選作品を県内各地で展示し、愛鳥週間の普及啓発を実施する。
③ 県審査で優秀作品 9 作品（特選 3 ・特別 6 ）を全国コンクールに応募する。

3. 根拠法令等

鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律、広島県野生生物の種の保護に関する条例

4. 実施内容等

・ポスターの作成過程を通じて野生鳥類についての保護思想を高めるため、「全国愛鳥週間用ポスター原画作品」を募集し、優秀作品を全国コンクールに応募した。
※ R7応募数：148作品（31校）
・巡回展示は各管理者の自主催事と組み合わせて、県民の正しい鳥獣保護意識を高められるように工夫する。例としては、ポスター展示の期間に「探鳥会」を開催したり、広島県庁のギャラリー展示では、単県事業である「ヒナをひらわな
いで啓発事業」等のパンフレット等の配付も併せて行った。
※ 5 月から10月にかけて県内 6 カ所で入選作品の巡回展示を実施した。

事業番号⑥

令和7年度 事業報告書

事業名	傷病鳥保護普及啓発事業	新規・継続区分	継続
事項名	—	開始年度	平成30年度
担当部署	広島県環境県民局自然環境課	終了年度	令和9年度

5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
報償費	49,200		49,200	愛鳥週間ポスター作品審査会
旅費	3,960		3,960	愛鳥週間ポスター作品審査会
役務費	12,747		12,747	愛鳥週間 特選賞状筆耕料
合計	65,907	0	65,907	(単位：円)

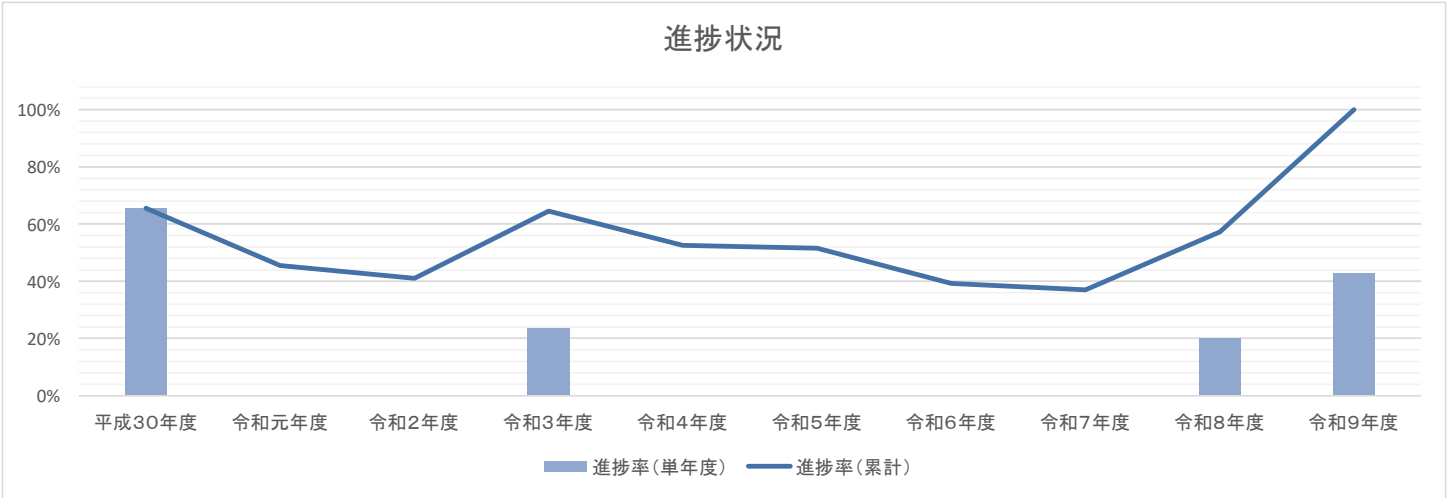
年度 (単位:千円)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費 (単年度)	23	23	19	25	25	27	60	66	72	72
事業費 (累計)	23	46	65	90	115	142	202	268	340	412

(見込) (見込)

6. 進捗状況等

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率 (単年度)	66%	-20%	-5%	24%	-12%	-1%	-12%	-2%	20%	43%
進捗率 (累計)	66%	46%	41%	65%	53%	52%	39%	37%	57%	100%
コンクール年度別応募点数 (点)	262	182	164	258	210	206	157	148	229	400

(見込) (見込)



令和 7 年度 事業報告書

事業名	希少動植物種生息地調査・保全事業	新規・継続区分	継続
事項名	—	開始年度	平成30年度
担当部署	広島県環境県民局自然環境課	終了年度	令和 9 年度

1. 目的及び目標（値）

県民が生物多様性の恵沢を将来にわたって享受するため、科学的情報に基づいて生物多様性を適切に保全し、県民の自然環境（生態系）の重要性に対する理解を促進する。

【成果目標】
自然観察会の参加人数 3,500名/年（令和 9 年度）

2. 概要

県民が自然環境（生態系）の保全の重要性に対する理解を深め、保全意識の高揚を図るため、県民に対し生きものの情報を分かりやすく提供し、自然環境（生態系）の保全の重要性を普及・啓発する。
このため、必要な調査や情報の蓄積を行い、ホームページや県広報誌等を通じて広く生きものの現状を県民に発信し、自然環境（生態系）の重要性を県民に訴求する。
併せて、次世代を担う子供達に自然環境（生態系）の保全を理解してもらうため、自然観察会を実施する。

3. 根拠法令等

広島県環境基本条例⇒第4次広島県環境基本計画
生物多様性基本法⇒未来へつなげ命の環！広島プラン～生物多様性広島戦略～（計画）
広島県野生生物の種の保護に関する条例

4. 実施内容等

- ①希少動植物種の調査及び普及啓発
- ・県民に対し生きものの情報を提供するための必要な調査及び自然環境保全の普及・啓発にかかる自然観察会等を開催した。委託事業の中では、市民（県民）モニタリングの機運上昇を目標としている。県民自らが生きものの情報収集の立役者となることにより、生物多様性保全の推進を目指す。このため、事業には、専門家を講師として招き、同定を前提とした生物写真の撮り方・環境省生きもののログを利用するための講習会型の観察会を年 2 回開催した。
- ②ヒョウモンモドキ保全地域協議会及び芦田川水系スイゲンゼニタナゴ保全連絡協議会への負担金
- ・安定的な生息環境を保持するための保全対策及び普及・啓発を実施した。（観察会及び普及啓発グッズ配付）
 - ・両協議会は、地元行政と地元住民による自然保護団体が連携して種の保護に当たることができるよう設立された。負担金はこれらの保全活動に必要な経費に当てられている。

事業番号 ⑦

令和 7 年度 事業報告書

事業名	希少動植物種生息地調査・保全事業	新規・継続区分	継続
事項名	—	開始年度	平成30年度
担当部署	広島県環境県民局自然環境課	終了年度	令和 9 年度

5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
旅費	0	0	0	保全連絡調整会議、協議会
委託費	6,710,000	0	6,710,000	調査・普及啓発業務
負担金	400,000	0	400,000	協議会への負担金
合計	7,110,000	0	7,110,000	(単位：円)

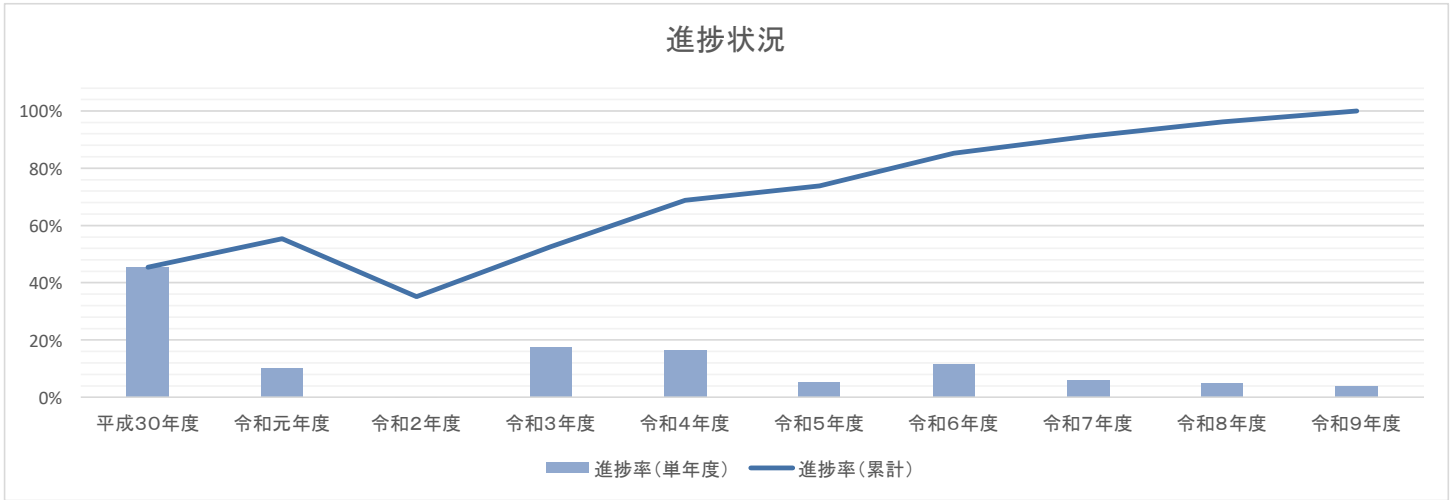
年度 (単位:千円)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費 (単年度)	3,524	4,940	6,190	6,180	5,585	5,910	6,340	7,110	7,958	7,958
事業費 (累計)	3,524	8,464	14,654	20,834	26,419	32,329	38,669	45,779	53,737	61,695

(見込) (見込)

6. 進捗状況等

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率 (単年度)	45%	10%	-20%	17%	16%	5%	11%	6%	5%	4%
進捗率 (累計)	45%	55%	35%	53%	69%	74%	85%	91%	96%	100%
自然観察会の年度別参加人数 (人)	1,588	1,938	1,230	1,839	2,408	2,584	2,982	3,193	3,366	3,500

(見込) (見込)



令和7年度 事業報告書

事業名	食品ロス削減推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	—	開始年度	令和6年度
担当部署	広島県環境県民局循環型社会課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

【目的】 食品ロスの削減に効果的に取り組むためには、県民一人ひとりが食品ロスの意義を認識し、この問題を「他人事」ではなく「我が事」として捉え、「理解」するだけにとどまらず「行動」に移す必要がある。そのため、食品ロス削減の取組を県民運動として取り組むことで食品ロス削減を目指す。 【目標】 (R6・R7目標) 食品ロス問題を認知して削減に取り組む消費者の割合：80%以上（令和9年度） (R8・R9目標) 食品ロス問題を認知して削減に取り組む消費者の割合：90%以上（令和9年度）
--

2. 概要

県民が、それぞれの立場で食品ロスの削減に自発的に取り組むよう、その重要性についての理解と関心の増進等のための教育や普及啓発の施策を、食育に関する取組と連携しながら推進する。また、生産、製造、販売等の各段階において発生している食品ロスの削減のための積極的な取組を推進する。
--

3. 根拠法令等

食品ロスの削減の推進に関する法律

4. 実施内容等

・食品ロスの削減の普及啓発 県民に食品ロスの削減に関する普及啓発を行い、食品ロス問題の認知度向上を狙った。また、事業者と連携し、県民が食品ロスの削減の取り組みやすい環境を整備し、食品ロスの削減への理解と関心の向上につなげた。 ◎消費者への広報 ○製造業・卸売業・小売業・外食業の食品ロスの削減に資する取組 小売業と連携したキャンペーンを実施することで、消費者に小売業の食品ロスの削減の取組を促した。 消費者が飲食店で食べ残した際に持ち帰りができる環境を整備するために外食業と連携して消費者に啓発した。 事業者が行っている食品ロス削減の取組の事例集を作成し、消費者に周知した。 ○消費者が家庭・お店でできる食品ロス削減の取組 手前どりや食べきり・持ち帰り、食品寄附などの取組を促進した。

事業番号 ⑧

令和 7 年度 事業報告書

事業名	食品ロス削減推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	—	開始年度	令和 6 年度
担当部署	広島県環境県民局循環型社会課	終了年度	令和 9 年度

5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
報償費	0		0	次年度取組調整ヒアリング
旅費	0		0	事業者の取組調査
委託費	7,865,000	360,000	7,505,000	消費者への広報
使用料及び賃借料	0		0	事業者協議用会議室使用料
合計	7,865,000	360,000	7,505,000	(単位：円)

年度 (単位:千円)	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
事業費 (単年度)	7,998	7,505	7,988	7,988
事業費 (累計)	7,998	15,503	23,491	31,479

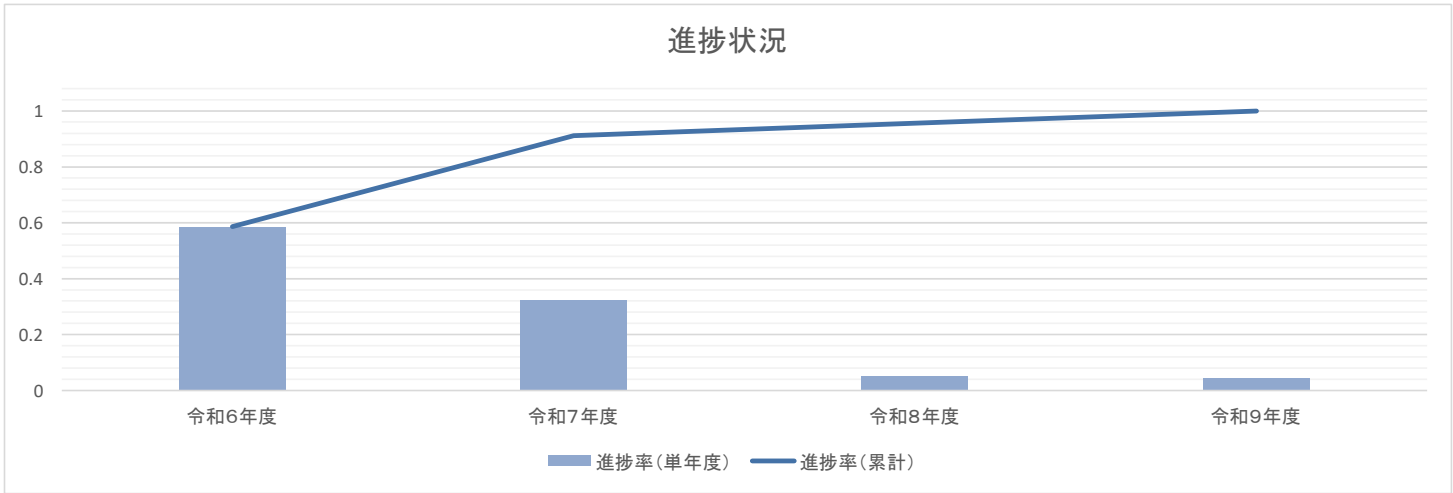
(見込) (見込)

6. 進捗状況等

年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
進捗率 (単年度)	59%	32%	5%	4%
進捗率 (累計)	59%	91%	96%	100%
食品ロス問題を認知して削減に取り組む消費者の割合 (%)	52.8	82.0	86.0	90.0

(見込) (見込)

進捗状況



令和7年度 事業報告書

事業名	暑熱対策普及啓発事業	新規・継続区分	新規
事項名	—	開始年度	令和7年度
担当部署	広島県環境県民局環境政策課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

- 【目的】
熱中症に代表される暑熱影響の現状について、事業者・県民等の理解が深まり、全ての主体がその影響に備えることが出来るように、適切な情報提供を行う。
- 【目標】
気候変動適応策の認知度：18.2%以上（令和9年度）←県民意識調査の結果（毎年度実施）

2. 概要

- ・気候変動対策には、「緩和策」と「適応策」の2本柱があるが、本事業では、暑熱対策に係る「適応策」の取組について、事業者・県民等を対象にセミナー等を通して、普及啓発を行う。
- ・暑熱対策のさらなる普及を目指して、セミナーの振り返りと次年度に向けた検討事項等について、有識者や国、県内の各機関と意見交換を行う。

3. 根拠法令等

- ・気候変動適応法（国）
- ・第5次広島県環境基本計画（県）
- ・第3次広島県地球温暖化防止地域計画（改訂版）（県）

4. 事業内容等

- セミナー等の開催
 - ・著名人や有識者、行政関係機関等を講師として、気候変動適応のための取組・対策について、セミナー等を通して普及啓発を行った。
- 意見交換会の開催
 - ・暑熱対策の普及のため、セミナーの振り返りや次年度に向けた検討事項等について、有識者や国、県内の関係機関と意見交換を行うとともに、気候変動に関する研究及び施策について情報を収集した。

事業番号 ⑨

令和7年度 事業報告書

事業名	暑熱対策普及啓発事業	新規・継続区分	新規
事項名	—	開始年度	令和7年度
担当部署	広島県環境県民局環境政策課	終了年度	令和9年度

5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
報償費	23,800	0	23,800	消費者への広報
旅費	49,180	0	49,180	消費者への広報
委託費	748,000	0	748,000	消費者への広報
需用費（食糧費）	318	0	318	消費者への広報
使用料及び賃借料	78,000	0	78,000	消費者への広報
合計	899,298	0	899,298	（単位：円）

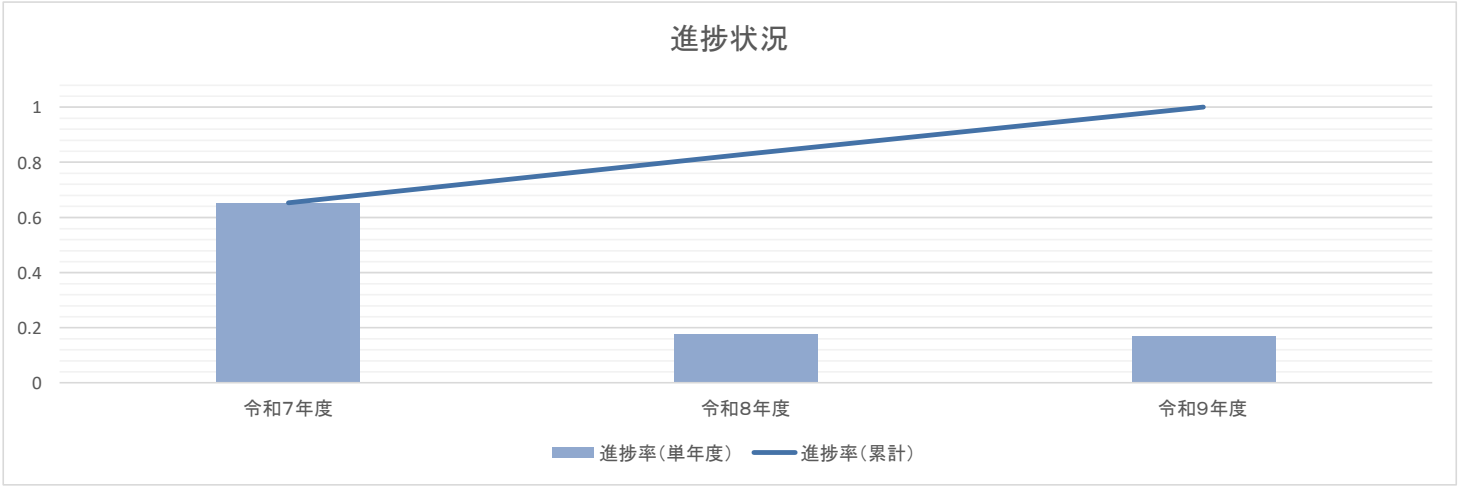
年度（単位：千円）	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費（単年度）	900	2,351	2,351
事業費（累計）	900	3,251	5,602

（見込）（見込）

6. 進捗状況等

年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率（単年度）	65%	18%	17%
進捗率（累計）	65%	83%	100%
気候変動適応策の認知度（%）	11.9	15.1	18.2

（見込）（見込）



令和7年度 事業報告書

事業名	海洋プラスチック削減に向けた普及啓発・取組定着促進事業	新規・継続区分	新規
事項名	—	開始年度	令和7年度
担当部署	広島県環境県民局環境保全課	終了年度	令和7年度

1. 目的及び目標（値）

- 【目的】
県民の誇りである美しく、恵み豊かな瀬戸内海の保全にむけて、海洋プラスチック問題を県民が自ら意識し、プラスチックを減らすために日常生活の中で取り入れられる手段やそれを選択できる場所・機会を提供するとともに、行動することによる海洋プラスチック等への貢献度を発信・啓発することにより、県民の参加意欲を高め、県内の機運醸成や取組人口の増加を目指す。
- 【目標】
プラスチックごみ削減の必要性を理解して行動している県民の割合 45%

2. 概要

海洋プラスチックの一因となっている、プラスチックカップやカトラリー等の使い捨てプラスチックについて、現状及び課題、消費者や地元商店等それぞれの立場で取り組めることを訴求するため、モデル地区において下記4のとおり事業を実施し、地域が一体となって取り組む輪をつくるとともに、モデル地区の取組をフックに県内のプラスチック削減意識を高める。

3. 根拠法令等

なし。

4. 実施内容等

- 海ごみゼロウィークの9月を起点として、廿日市市（宮島・宮島口周辺）をモデル地区に、次の事業を実施した。
- (1) キャンペーン・イベントの実施
 - ・地元商店や消費者等を巻き込んだ長期キャンペーンの展開
 - ・キャンペーンの賛同者を拡大するためのスポットイベント等の開催

(2) プラスチック削減の手段として、県民が日常に取り入れられる商品・サービス・活動等の誘致、展開
 - ・県民が取り入れやすい商品やサービス等の調査、展開
 - ・上記の商品等と、県内で販売・提供できる拠点をもつ企業・団体とのマッチング活動
 - ・協力企業等が活用する啓発物品の制作

(3) その他
 - ・県民の意識変化の調査（アンケートなど）

事業番号 ⑩

令和7年度 事業報告書

事業名	海洋プラスチック削減に向けた普及啓発・取組定着促進事業	新規・継続区分	新規
事項名	—	開始年度	令和7年度
担当部署	広島県環境県民局環境保全課	終了年度	令和7年度

5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
委託費	59,967,600		59,967,600	事業運営費
合計	59,967,600	0	59,967,600	(単位：円)

年度 (単位:千円)	令和7年度
事業費 (単年度)	59,968
事業費 (累計)	59,968

6. 進捗状況等

年度	令和7年度
進捗率 (単年度)	120.0
進捗率 (累計)	120.0
行動している県民の割合 (%)	54.0

